

シャトルバス(大神～市民病院)の再編について

1 現状

大神と市民病院を結ぶシャトルバスは、運行開始から20年が経ちます(2005年1月運行開始)。

市民の生活形態が変化し、運行当初に医療機関が無かった大神地区には、ジ アウトレット湘南平塚敷地内等に随時、医療機関が開院しています。

また、済生会平塚病院の宮松町移転により、市内北部地域から総合病院へのアクセスが改善しました。

こうした中、現行ルートの朝2便(大神7:30発神田ルート、大神9:10発横内ルート)については、利用者が多く車内が満員になることがしばしばありますが、以降の3便は利用者が少ない状況となっています。

2 車両概要

HINO Poncho 定員36人(座席11・立席24・乗務員1)1台

平成30年4月更新。ノンステップ、車いす利用者乗車可

所有者 神奈川中央交通(株)

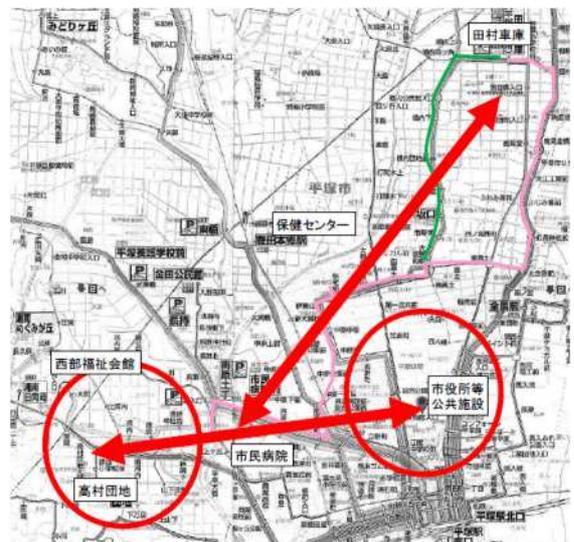
3 再編に向けての方向性

○生活形態の変化(医療機関の随時開設等)や、利用者が非常に少ない大神地区バス停の停車見直し

○バスの起終点である田村車庫以南について、利用者が多い1・2便の時間帯での運行維持

○本市の交通課題である東西交通の確保(西部地域への延伸)

○運行経費における市負担割合の改善



「交通結節点を東西につなぎ、公共施設へ導く急行便」

4 再編に向けての取組状況

○利用者アンケートの実施<R6.7>

○試走による課題整理<R6.10>

○関連する自治会との意見交換<R7.1～>

○関係各所(路線バス運行事業者、警察等)との協議<随時>



以上